

エコアクション21・環境経営レポート

(対象期間：2024年10月～2025年9月)

発行日：2025年12月1日



山本松産業株式会社



 YAMAMOTOMATSU
Bedlinen making & cleaning

目次

ご挨拶	---1
SDGS 未来への約束	---2
1・事業の概要	---3
2・環境経営方針	---4
3・組織	---5
4・主な環境負荷の実績	---6
5・環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果と 評価、並びに次年度の環境目標及び環境経営計画	-7
(1)環境経営目標及び当期の実績	-7
(2)環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の 計画の内容	-8
6・環境関連法規などの遵守状況の確認、評価の結果、 違反、訴訟などの有無	---9
7・緊急事態訓練の記録	---10
8・地域などの環境活動の一例	---10
9・総括(代表者による全体の評価と見直し・指示)	---13



ご挨拶 Greeting

「安心・清潔・安全」なもののづくりで、持続可能な未来と快眠を。

弊社は創業 100 年、昭和 32 年の法人設立より製綿業を営んで参りました。現在はその枠を超え、医療・福祉・教育機関や官公庁向けのレンタル布団、一般のお客様向けの通信販売、さらには縫製加工から寝具の製造販売、OEM まで、幅広く事業を展開しております。

昨今の激変する社会情勢下において、国内の寝具メーカーは減少の一途を辿っております。しかし、超高齢社会を迎え消費構造が変化する今こそ、私たちが掲げる「安心・清潔・安全」なもののづくりへの誠実な姿勢が重要であると確信しております。現代社会において、人々が求めるものは「健康」「介護」そして「快眠」です。単なる寝具の提供に留まらず、健康増進や美容、環境保全といった多角的な視点から商品開発を進め、循環型社会を目指す「4R 活動」にも注力しております。

弊社では 2016 年より「エコアクション 21」に取り組んでおります。その背景には、2 つの大きな目的がございます。

1. **本業を通じた環境貢献** 粗大ごみとして廃棄される布団の中綿をリメイクし、再び「快眠布団」として命を吹き込む。この自然循環型のビジネスモデルにより、環境負荷の低減に寄与して参ります。
2. **組織力の強化と人財育成** PDCA サイクルを回す組織経営を通じて、役割分担の明確化と風通しの良い風土を醸成します。健康経営を土台として、誰もが幸せに生き生きと、誇りを持って働ける環境を整え、社員と共に育つことで生産性を向上させます。その歩みが、結果として豊かな社会への貢献に繋がると考えております。

近年、気候変動による自然災害や、不安定な国際情勢に伴うエネルギーコストの高騰など、私たち中小企業を取り巻く環境はかつてない厳しさに直面しております。こうした不透明な時代だからこそ、弊社は国連が提唱する「SDGs(持続可能な開発目標)」を経営の指針に据え、未来を担う子供たちや世界の人々の幸せのために行動して参ります。

エコアクション 21 を通じた無駄の排除は、コスト削減のみならず「経営基盤の強化」そのものです。持続可能な経営と地球環境への貢献を両立させ、ステークホルダーの皆様、そして地域社会と共に歩み続けて参る所存です。

今後とも、変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

山本松産業株式会社
代表取締役 山本 康雅



SDG s 未来への約束

Sustainable（持続可能な）・Development（開発）・GoalS（目標：到達点）

- ・当社は、多様な人たちが共に尊重しながら活躍できる社会をめざします
- ・当社は、事業活動を通して、持続可能な社会の実現に努めます
- ・当社は、エコアクション21等の環境への取り組みを通して環境負荷の低減に努めます
- ・当社は、環境に優しいモノづくりで地域社会に貢献します



SDG s の取り組み		
テーマ	取り組み	関連する SDG s
貧困をなくそう	雇用を守り維持発展させる企業を目指す。途上国からインド綿・メキシコ綿を仕入れている。売り上げの1%を慈善活動に寄付する。	
平和と公正・餓死をゼロに	サステナブルな商品の売り上げ金の1%を国境なき医師団に寄付している。日本赤十字社奈良県支部に寄付している。	
全ての人に健康と福祉を・不平等をなくす	2024年健康優良法人認定。仕事と治療の両立支援。女性活躍推進クラブ認定登録。社員シャイン認定登録。	
作る責任使う責任	ゴミとして捨てられる布団の中綿を健康寝具としてリメイクし商品販売している。半端な生地を使用して布巾・汚れ防止材として活用。無人駅に座布団配布	
住み続けられるまちづくり	地域清掃活動に参加。サステナブルな商品を寄付（天理市役所・他）雇用を守り社員の生活を守る	
質の高い教育を	全社員が環境に取り組むことの重要性を理解し、省エネや廃棄物削減などに取り組んでいる	

1. 事業の概要

(1) 名称及び代表者名

山本松産業株式会社

代表取締役 山本 康雅

(2) 所在地

本 社 〒632-0052 奈良県天理市柳本町889-1

工 場 同 上

(3) 事業内容

企業様向け布団の製造・卸及び販売・商品企画

一般のお客様向け寝装寝具の製造販売・布団のクリーニング・通信販売

(4) 創 業 : 昭和32年10月31日

設 立 : 昭和62年11月12日

(5) 環境活動の範囲

事業

寝装寝具の製造・卸及び販売

範囲

全組織・全活動

(6) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者

専務取締役 山本 玲子

担当者

同上

電話・ファックス

TEL:0743-67-0341 FAX:0743-67-0342

(7) 事業の規模

資本金 : 1000万円

従業員 : 12人 (役員3人、正社員3人 パート社員6人)

工場敷地面積:1153.7㎡ 建床面積:870.98㎡

駐車場 :221㎡

(8) 事業年度

10月～翌年9月

2. 環境経営方針

【当社の理念】

当社は、快眠布団を普及する事で、多くの方の健康に寄与し、布団のリフォームというリサイクルシステムにより、環境への取り組みをします。地球温暖化の防止においては、資源循環型企業を目指し、社会のニーズに的確に対応します。

以上のことから、環境省が定めるエコアクション21（環境マネジメントシステム）を環境経営活動として実践、継続的な取り組みを実施します。社員一同が誇りを持って社会にお役に立つ環境経営を実行し、環境負荷の低減と汚染の予防を図り下記のように環境経営方針を定めます。

【環境経営方針】

1・エコアクション21に基づき、環境関連の法令、条例等の規制事項を遵守し、地域や顧客の環境関連要求に配慮して、環境経営活動の継続的な改善を図ることを誓約します。地域貢献については、環境経営システムを取り入れ計画的に実施します。

2・4つの目標及び計画を実施します。

- ① 廃棄物の減量化と分別によるリサイクルに努めます。
- ② 電力使用量の削減と運搬車両等の燃料削減に努めます。
- ③ 用水の使用量削減に努めます。
- ④ 生産・販売する製品の環境性能の向上に努めます。

3・環境コミュニケーションを通じて、環境活動の状況を内外に伝達します。

4・全従業員に、環境経営方針を周知します。

5・4Rを推奨します。

Refuse 不要なもの余計なものはいりません。

Reduce ゴミを減らす。

Reuse まだ使えるものは繰り返し使う。

Recycle 資源としてまた利用する。

6・SDGsを取り入れながらエコアクション21の取り組みをする。

7・環境への取り組みを適切に実行する為の人員、経営資源を準備します。

8・環境に経営を位置づけて環境経営推進をめざし、経営における課題とチャンスを明確にして環境への取り組みを反映させます。

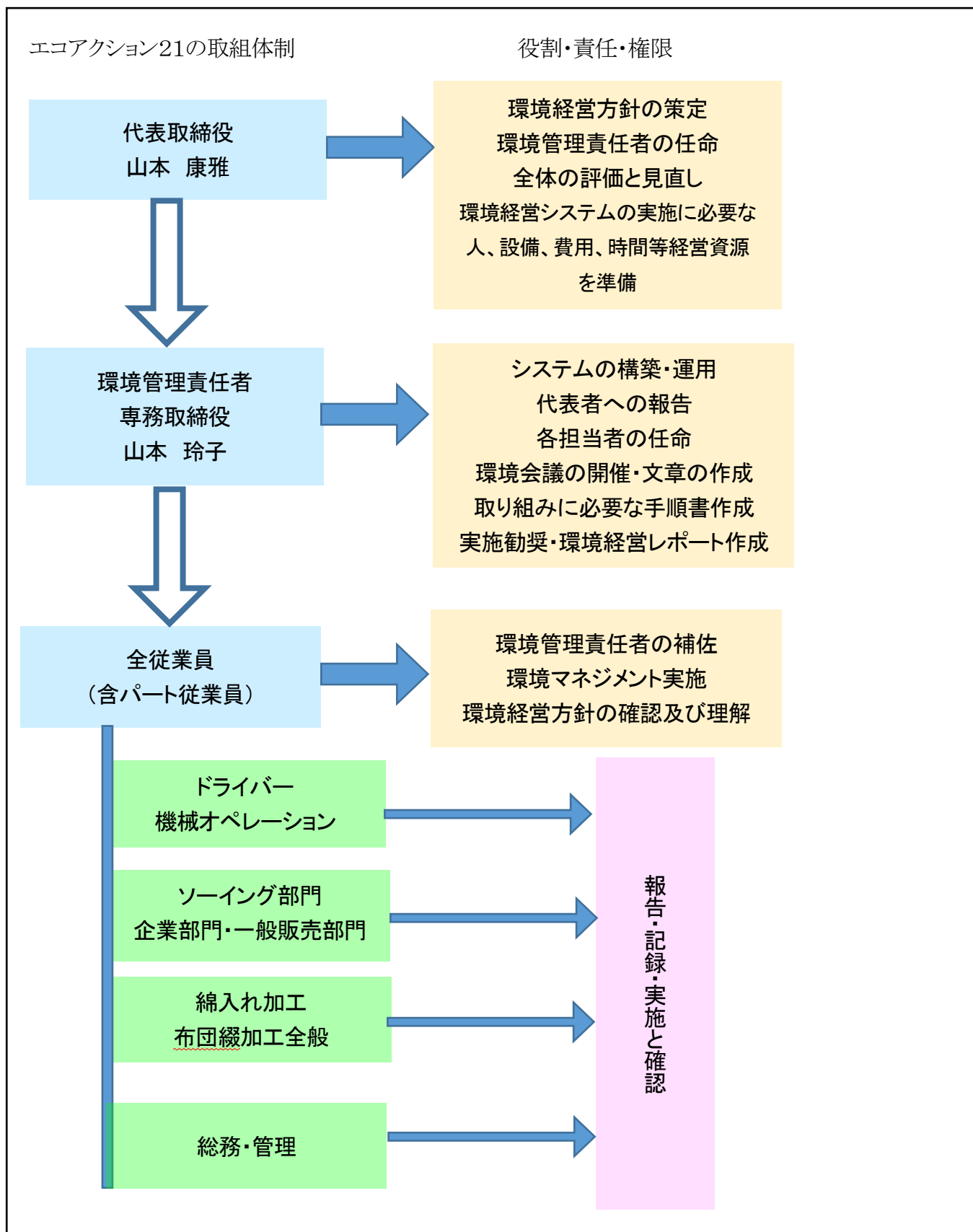
改訂2・2021年11月10日

改訂1・2021年6月10日

制定日・2017年9月30日

山本松産業株式会社 代表取締役 山本 康雅

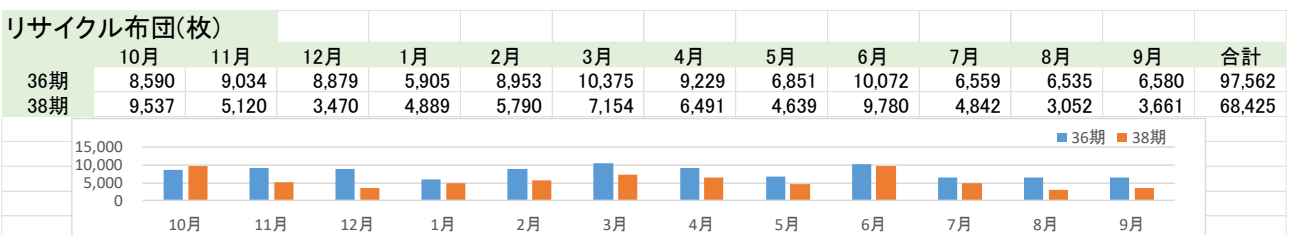
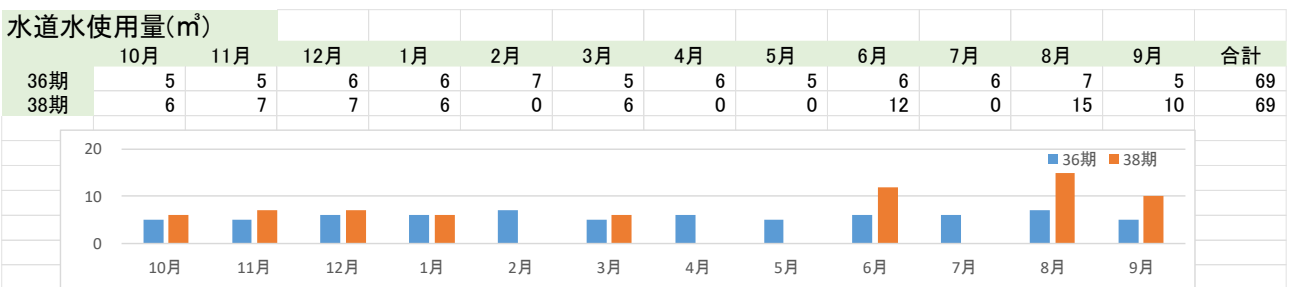
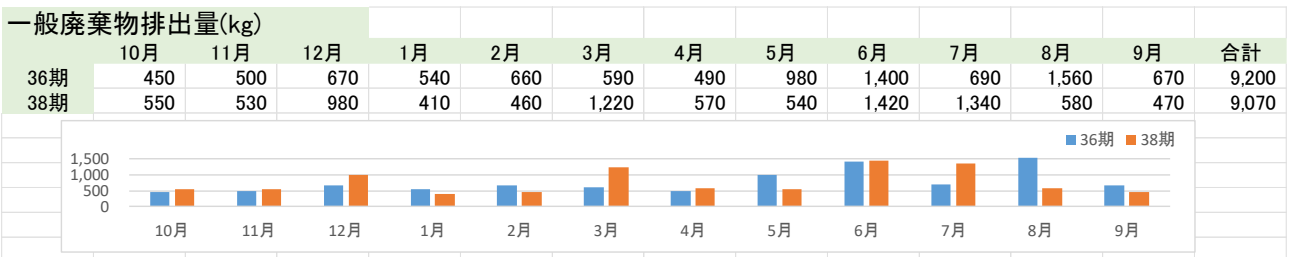
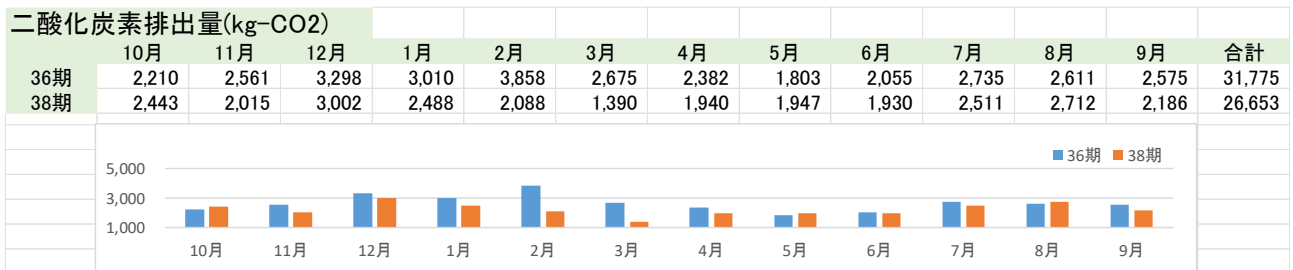
3. 組織



4. 主な環境負荷の実績

項 目	単位	36期 2022年10月～ 2023年9月迄	37期 2023年10月～ 2024年9月迄	38期 2024年10月～ 2025年9月迄
		実績	実績	実績
二酸化炭素排出量 (対象：エネルギー総量)	kg-CO ₂	31,775	27,937	26,653
一般廃棄物排出量	Kg	9,200	9,460	9,070
水道水使用量	m ³	69	76	69
リサイクル布団	枚	97,562	126,520	68,425

※CO₂ 排出係数は、2023 年度の関西電力の調整後排出係数 0.351kg-CO₂/kWh を使用して再計算しています。



5. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

(1) 環境経営目標及び当期の実績

		単位	36期 2022年10月～ 2023年9月迄	38期 2024年10月～ 2025年9月迄		評価	39期 2025年10月～ 2026年9月迄	40期 2026年10月～ 2027年9月迄
			(基準年度)	増減率 (目標)	(実績)		基準年度比 (目標)	基準年度比 (目標)
C O 2 排 出 量 の 削 減	電力の削減	kWh	58,147	99.0%	68.1%		67.0%	66.5%
				57,566	39,230	○	38,958	38,668
	ガソリンの削減	L	1,627	99.0%	120.8%		99.0%	99.0%
				1,611	1,946	×	1,611	1,611
	軽油の削減	L	2,942	99.0%	84.8%		98.5%	98.0%
				2,913	2,469	○	2,898	2,883
	灯油の削減	L	0	0	803	—	795	787
	CO2排出量の削減	kg-CO ₂	31,775	99.0%	84.7%		98.5%	98.0%
				31,457	26,653	○	31,298	31,139
一般廃棄物の削減		kg	9,200	99.5%	99.1%		99.4%	99.0%
				9,154	9,070	○	9,145	9,108
水道水の削減		m ³	69	99.5%	100.5%		99.4%	99.0%
				69	69	×	69	68
リサイクル布団の促進 (販売促進で増加)		枚	97,562	101.0%	69.8%		100.0%	100.0%
				98,050	68,425	×	97,562	97,562
リサイクル品寄贈		回	2	1	3	○	1	1
地域清掃活動			5	1	4	○	1	1

※CO₂ 排出係数は、2023 年度の関西電力の調整後排出係数 0.351kg-CO₂/kWh を使用しています。

※灯油は 38 期の実績を 100%(基準値)として 39 期、40 期の目標を設定しています。

※リサイクル布団の枚数には丸洗い布団 29,249 枚を加算して表示しています。化学物質は使用していません。

(参考)当社では廃棄・焼却用の綿布団をリサイクル布団として再生し、焼却した場合に発生する CO₂ を抑制しています。

(2) 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

項目		取組内容	達成率	取組評価	結果の評価 次年度の取組計画
C O 2 量 の 削 減	電力の削減 目標 57,566kWh 実績 39,230kWh	1.不要時の消灯 2.エアコン管理の徹底 3.ブラインド等の有効利用	131.9%	○	・全従業員が取り組み内容をよく理解し、不要時の消灯徹底。冬場の温風機を灯油燃料に変更したため目標を大きく上回る成果を上げることができました。
	ガソリンの削減 目標 1,611L 実績 1,946L	1.車両の点検整備の徹底 2.走行距離の低減 3.エコドライブの徹底	79.2%	×	・目標達成には至りませんでしたが、車両の走行距離低減や効率的な運用について次期改善していきたい。
	軽油の削減 目標 2,913L 実績 2,469L	1.車両の点検整備の徹底 2.走行距離の低減 3.エコドライブの徹底	115.2%	○	目標達成しました。効率的な配送やエコドライブの意識が浸透した結果といえる。次期も引き続き推進する。
	灯油の削減 目標 — L 実績 803L	1.適正、安全な管理 2.換気の徹底	—	—	今年度初めて暖房用燃料として使用した。次期も引き続き予定している。
	CO2量の削減 目標 31,457 実績 26,653	上記の取り組み	115.3%	○	冬場の暖房設備を電力から灯油燃料に変更したことがCO2削減に大きく寄与した。次期も継続してCO2発生量の低減に努めたい。
一般廃棄物の削減 目標 9,154kg 実績 9,070kg		1.ゴミ分別の徹底 2.無駄をなくす 3.繰り返し使用する	100.9%	○	目標達成しました。分別の徹底やリユースの意識が維持されていることを示します。今後も継続した管理をします。
水道水の削減 目標 69m³ 実績 69m³		1.手洗い時の節水の徹底 2.トイレの二度流し防止	99.5%	×	目標値に対して超過傾向にありましたが、第4半期には節水の意識が高まり改善が見られました。次期は通年で安定した削減を目指します。
リサイクル布団の促進 (販売促進で増加) 目標 98,050枚 実績 68,425枚		1.リサイクル布団の販売促進 2.リサイクル布団の品質向上	69.8%	—	取引先の倉庫改修工事の影響により一時的に納入がストップしました。
リサイクル品の寄贈 目標 1 実績 3		1.地域貢献活動として実施	—	—	・引き続き貢献活動を推奨する
地域清掃活動 目標 1 実績 4		1.地域貢献活動として実施	—	—	・引き続き貢献活動を推奨する

6. 環境関連法規などの遵守状況の確認、評価の結果、違反、訴訟などの有無

(1) 当社に適用となる主な環境関連法規等

	法律・条例名	遵守すべき事項	遵守状況
1	廃棄物処理法	・ 事業系一般廃棄物の分別管理 ・ 事業系一般廃棄物の処理	遵法
2	騒音規制法	・ 騒音規制基準の遵守 ・ 対象特定施設の届け出	遵法
3	消防法	・ 指定可燃物貯蔵取引所の届け出、標識・掲示板の設置 ・ 消防用設備等の点検・報告 ・ 火災報知器・屋内消火栓の設置	遵法
4	資源リサイクル法	・ 基本理念と事業者の責務	遵法
5	フロン排出抑制法	・ 適切な運転管理での漏えい防止 ・ エアコンの簡易点検	遵法

(2) 違反・訴訟等の有無

- ・ 自社の事業活動に関する法令違反はありません。
- ・ 関係当局からの違反等の指摘は、過去3年間なく、訴訟もありません。

※ 次回環境経営レポートの発行は、2026 年 12 月の予定です。

7. 緊急事態訓練の記録

2025 年 5 月 12 日 ・地震防災訓練、火災訓練 ・(有)小塚防災による消火設備等の説明、点検		
---	---	---



8. 地域等の環境活動の一例

・2024 年 12 月

・2025 年 8 月

清掃活動

場所:奈良県天理市柳本町当社から
JR柳本駅周辺



・2024 年 10 月(天理市に赤ちゃん用寝具の寄付)

・2024 年 11 月(座布団制作)

・2024 年 12 月(座布団配置)

配置場所:JR纏向駅・三輪駅

・2025 年 5 月座布団回収

※無人駅に配置した座布団は梅雨前に回収し仕立直しをします。





2026
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
中小企業法人部門



2017 年なら女性活躍推進倶楽部認定

2017 年奈良県シャイン社員職場作り 推進企業認定

2019 年健康優良法人認定

2020 年健康優良法人認定

2021-2023 年健康優良法人ブライツ 500 認定

2024 年健康経営優良法人認定

2025 年健康経営優良法人認定

2025 年奈良県知事賞受賞

奈良県社員シャイン職場作り推進企業として働きやすい
職場作りに取り組む認められました。



2025 年奈良県 SDGs企業アドバンス部門企業認定

この度、弊社は「奈良県 SDGs 企業認証制度」において、上位区分である「アドバンス認証」
を取得いたしました。

本制度は、奈良県内の中小企業による SDGs への貢献を「見える化」し、地域社会の持続可能
な発展を目指すものです。弊社は、「経済」「社会」「環境」の3分野にわたる評価項目の
うち、30 項目中 20 項目以上を達成し、特に優れた取り組みを行う企業として認められまし
た。

これからも伝統ある寝具の製造を通じて、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいりま
す。

布団のリフォームで「子供たちの命を救う」

皆様より頂戴した一般のお客様向けリフォーム商品の売上金1%を「認定 NPO 法人」を通して寄付させて頂いております。

布団 1 枚で栄養治療食.....
はしかの予防接種.....



人と地球に優しい環境

2025 年全国コットンサミット天 IN 天理 第 10 回記念大会
SDGs未来を担う子供たちへ、人生 100 年時代のその先を見据えて
2025 年 11 月 16 日工場見学 全国から 28 名参加



2025 年 柳本小学校 2 年生 町探検 工場見学
リサイクル布団や洗える布団及び布団の中綿について説明。

子どもたちには「眠りの魔法」を語り、先生方にはその科学的根拠を共有しています。「しっかり眠る子は、心身ともに健やかに、勉強もスポーツも伸びていく」眠りを整えることは、子どもたちの無限の可能性と未来を守る大切な活動です。



9. 総括(代表者による全体の評価と見直し・指示) 2025 年12月 1 日

第 38 期は、CO2 排出量削減について大きな成果を得ることができました。主な要因は、冬場の暖房設備を電力から灯油燃料に変更したこと、軽油の使用量削減、加えて全従業員の環境経営への意識が定着してきたことがあげられます。今後についても環境経営をしっかり定着させ、CO2 発生量の低減に努めてまいります。

一方、ガソリンの使用量は目標未達となりましたが、次年度以降、引き続き効率的な配送方法を検討してまいります。水道水使用量はほぼ横ばいの結果となりましたが、今後、節水意識のさらなる向上に努めてまいります。長引くウクライナ情勢など世界的な不安要因が多く、また円安の影響もあり、原材料価格・燃料価格・電力料金は不安定な状況が続き、経営環境は依然として厳しい状況が継続しています。しかし、このような状況下だからこそ、外部環境の変化を注視しつつ、環境活動の重要性や意識改善の必要性を今まで以上に認識し、経営活動に反映させてまいりたいと考えています。

そして、引き続き、商品の付加価値を高め、価格決定権を持つことを目指すとともに、新たな市場の開拓にも積極的に取り組んでまいります。事業再構築補助金を活用して導入した機械やマシン、また、事務所の IT 化を通じて、会社全体の業務効率化と改善活動を継続してまいります。さらに、工場内では生産性の一層の向上を図っていく所存です。

当社は 8 年連続で「健康経営優良法人」に認定されており、今後も社員一人ひとりの心身の健康を大切にしながら、健康で活力ある会社づくりを目指してまいります。また、2025 年 11 月には奈良県 SDGs 企業(アドバンス部門)に認定され、「社会」「経済」「環境」での取組を認められました。

そして、社内体制の強化にも引き続き力を注ぎ、顧客ニーズにより高い次元でお応えできる企業を目指して、社員一丸となつて取り組んでまいります。生産性の向上に加え、安全・健康を第一に、エコアクション 21 の活動にも継続して着実に取り組んでまいります。

次年度への指示

成果の一方で、依然として不安定なエネルギーコストや気候変動の影響など、中小企業を取り巻く環境は厳しさを増しています。次年度に向けて、以下の事項に重点的に取り組むよう指示いたします。

- 工場内でのさらなる生産性の向上と業務効率化を追求してください。
- 環境目標の継続的な見直し：今期の成果に満足することなく、常に「環境経営計画」の PDCA サイクルを回し、環境負荷のさらなる低減を目指してください。
- 人財育成とコミュニケーション：風通しの良い職場風土を維持し、全社員が環境・健康・経営のつながりを深く理解し、主体的に行動できる体制を強化してください。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☐ 変更なし	☒ 変更あり
実施体制他	☒ 変更なし	☐ 変更あり